

# 画面操作

- Ctrl + A: 行の先頭に移動
  - Ctrl + E: 行の最後に移動
  - Ctrl + F: カーソルを右に移動
  - Ctrl + B: カーソルを左に移動
  - Ctrl + D: カーソル部分の文字を削除
  - Ctrl + H: カーソルの左の文字を削除
  - Ctrl + U: カーソルから行頭までの文字を削除
  - Ctrl + K: カーソルから行末までの文字を削除
  - Ctrl + W: カーソル位置の単語を削除
  - Ctrl + Y: 直前に削除した文字を張り付け
  - Ctrl + L: 画面をクリアにする
  - Ctrl + S: 画面をロック
  - Ctrl + Q: 画面のロックを解除
- 
- Tab: コマンド、ファイル等の候補を表示

# manコマンド

コマンドのマニュアルを表示するコマンド

man コマンド名

キー操作

- q: 終了する
- d: 半分画面を進む
- u: 半分画面を戻す
- f: 1画面進む
- b: 1画面戻す
- g: 行頭まで移動
- G: 行末まで移動
- 100G: 100行目に移動
- /: 前(下)方向に検索(n: 下方向へ次のものを検索、N上方向へ次のものを検索)
- ?: 後(上)方向に検索(n: 上方向へ次のものを検索、N下方向へ次のものを検索)

# dateコマンド

時刻を表示するコマンド

date

- format

date '+%Y/%m/%d' #2019/06/04

date '+%Y-%m-%d' #2019-06-04

date -d '1 day' #1日後

date -d '2 days' #2日後

date -d '3 days ago' #3日前

date -d '-3 days' #3日前

date -help #dateコマンドのヘルプを表示

# echoコマンド

文字を表示するコマンド

echo 文字

# ファイルシステムについて

Linuxのディレクトリ、ファイルの論理的な位置関係を表すもの

例えば、windowsで自分(hoge)のユーザ直下にtest.txtと言うファイルを配置したとすると、実際にはC:¥User¥hoge¥test.txtに配置されていることになる。

Linuxだと

/home/hoge/test.txtに配置される

(/home/ユーザ名のディレクトリはホームディレクトリと呼ばれる)

/ はルートディレクトリといってすべてのディレクトリの根をたどった際の頂点に当たる。

# touchコマンド

ファイルを作成するコマンド

touch ファイル名 #ファイルを1つ作成

touch ファイル1 ファイル2 ファイル3 #ファイルを複数作成

touch -d '2019/01/01' test.txt # test.txtのタイムスタンプを2019/01/01にして作成

# mkdirコマンド

ディレクトリを作成するコマンド

`mkdir dir1` #dir1ディレクトリを作成

`mkdir -p dir1/dir2/dir3` #dir1ディレクトリを作成し、dir1の中にdir2をその中にdir3ディレクトリを作成する

# pwdコマンド

カレントディレクトリを表示するコマンド

```
pwd
```

# cdコマンド

ディレクトリの位置を変更するコマンド

cd ../ : 一つ上のディレクトリに移動

cd dir1: dir1ディレクトリに移動

cd /tmp/var: ルートディレクトリから/tmp/varに移動

# lsコマンド

ディレクトリにあるファイルを表示するコマンド

ls #カレントディレクトリ上のファイルを表示

ls /var/log # /var/logディレクトリ上のファイルを表示

ls -a # 隠しファイル(.で始まるファイル)も表示

ls -A # 隠しファイル(.で始まるファイル、カレントディレクトリ(.)、親ディレクトリ(..)は非表示)も表示

ls -l # 詳細情報も表示

ls -l # 縦方向に表示

ls -lt # timestampで降順に表示

ls -ltr # timestampで昇順に表示

# viコマンド

ファイルを作成して編集するコマンド

vi ファイル名

入力モードに移動

iキー: 現在のカーソル位置に文字を入れる

Aキー: カーソル位置の行の最後に文字を入れる

Oキー: 前の行に文字を入れる

oキー: 後ろの行に文字を入れる

Esc: 入力モードからコマンドモードへ移動

コマンドモードの操作

x: 1文字削除

dd: 1行削除

d100d: 100行削除

y: 行コピー

p: コピーした行のペースト

y100y: 100行コピー

G: 最終行へ移動

100G: 100行目に移動

/ 下方向に検索、 ? 上方向に検索

:q! ファイルを保存せずに閉じる

:w ファイルを保存、viは終了しない

:wq ファイルを保存して終了

# lessコマンド

ファイルを1画面で表示するコマンド(編集はしない)

less ファイル名

less -N ファイル名 # 行番号を表示

画面内でのキーコマンド

d: 半画面進む

u: 半画面戻る

g: 先頭行に移動

G: 末尾に移動

v: viコマンドで表示中のファイルを編集する

q: 終了する

100G: 100行目に移動

/: 前(下)方向に検索(n: 下方向へ次のものを検索、N上方向へ次のものを検索)

?/: 後(上)方向に検索(n: 上方向へ次のものを検索、N下方向へ次のものを検索)

# rmコマンド

ファイルを削除するコマンド

rm ファイル名

rm test1 test2 test3

rm -f: 強制的にファイル削除

rm -i: ファイルを削除する際に削除するかどうか聞く

rm -r: ディレクトリを再帰的に削除

rm -rf: ディレクトリを強制削除

rmdir: 空のディレクトリを削除

# mvコマンド

ファイル(ディレクトリ)の移動、リネームするコマンド

mv ファイル名1 dir # ファイル名1をdirディレクトリ内に移動

mv ファイル名1 ファイル名2 #ファイル名1をファイル名2に変更

mv -f: 強制的にファイル移動

mv -i: ファイルを移動する際に上書きになる場合は、上書きするかどうか聞く

mv -b: 上書きして移動する際にバックアップファイルを作成

# cpコマンド

ファイルをコピーするコマンド

cp ファイル名1 ファイル名2 # ファイル名1と同じ内容のファイル名2をコピーして作成

cp -f: 強制的にファイルコピー

cp -i: ファイルをコピーする際に上書きになる場合は、上書きするかどうか聞く

cp -r: ディレクトリ毎コピー

cp -b: 上書きする際にバックアップファイルを作成

cp -p: ファイルのパーミッション、所有者情報、タイムスタンプを保持

# rootユーザーに変更(su)

linuxでスーパーユーザーはrootユーザーと呼ばれています。このrootユーザーになるには、suコマンドを実行します。

rootユーザーになると普通のユーザーでは権限ができずに実行できないことも実行できるようになります。

\*)詳細は、LPICの章で紹介します。

ここでは最も基本的なコマンドを紹介しました。

後の章で、LPICの勉強もかねてさらに多くのコマンドの使用方を紹介したいと思います。

また、コマンドの詳細は、ネットで検索するか、manコマンドで調べることができるので忘れた場合はそちらを参照ください。